

R6年
3月発行

みずいろ通信

Vol. 20



暖かい冬を終え、早春の時期を迎えました。早咲きの春の花が所々に見られ、季節の移ろいを感じる今日この頃です。

さて、早いもので今年度も終わりを迎えようとしています、4Sの活動は切れ目なく継続していきます！

令和5年12月10日(日)

クレオ大阪中央で「さとおやっとなあに」のセミナーを行いました。



当日は10名の方の参加があり

- ・里親制度説明
- ・里親になるまでストーリー
- ・現役里親さんの体験談
- ・感想のシェア

の4本立てでしたが、やはり今回も里親さんの体験談が好評で、参加者からのアンケートには「体験談があって良かった」「実体験が聞けたことで理解が深まった」「具体的な生活のイメージが持てました」など多くの感想をいただきました。

里親さんのお話は、里親をしていて良かったことだけではなく「苦しんだこと悩んだことも今だから話せる」と重たく感じないように聴きやすく話してくださったことで、「“等身大の里親”が見えたような気がし、話に引き込まれた」と体験談登壇者に魅了された4Sメンバーが多くいました。

今年で7回目のクレオ中央大阪との共催セミナーですが、今後も内容をブラッシュアップし、参加された方に「来てよかった」と思って帰っていただけるセミナーを目指します。

第4回あさひあったかり親家族づくりシンポジウム ～ 知ってほしい 里親という家族のキズナ ～

日にち: 令和6年2月3日(土)

場 所: 旭区民センター



4回目の開催になりました！

第1部 映画上映会「育ててくれて、ありがとう。」では、涙を流されている方がおられました。第2部 パネルディスカッションでは、～絆でつながる家族のカタチ～をテーマに、岩朝しのぶ氏(特定非営利活動法人 日本こども支援協会 代表理事)・現役里親さん・元里子さん2名が、それぞれの思いを話してくださいました。

主催は、あさひあったかり親家族づくりシンポジウム実行委員会(旭区役所、大阪市旭区社会福祉協議会、大阪市北部里親支援機関かなーちえ、一般社団法人大阪市児童福祉施設連盟里親支援委員会)で、今回は地域でこどもを支える「こども食堂」にもご協力いただき、美味しいカレーライスが振る舞われました。色々な地域で里親について知ってもらえる機会が増えていくことを願っています。

週末里親相談会

2月10日 大念仏乳児院(平野区)

週末里親相談会は7年前から始まり、今回で6回目を迎えました。8名の方が参加してください、熱心に耳を傾けておられました。児童養護施設で暮らすこどもたちの映像を見ていただき、週末里親とこどもたちの交流の様子を聞き、実際週末里親として活動されている方の体験談を聞くことでイメージが膨らんだようでした。体験談では、週末里親さんが日頃から愛情いっぱい関わってくださっていることが伝わってきました。体験談後の個別相談会でもたくさんのご相談がありました。



乳児院～特別養子縁組里親実習～

今年度も当乳児院からご縁があって、特別養子縁組前提で、里親さん宅に3人(1月現在)のこども達が「パパとママ」のお家にお引越しをしました(^_^♪
今回はその内の1人、A子ちゃん(1歳)の話をしたと思います。



初対面の時は、里親さんだけでなく施設職員も毎回ワクワクドキドキです。A子ちゃんも、予めお部屋に里父母さんの写真を貼って、担当職員から話を聞いていましたが、いざ顔を合わせると、担当職員の抱っこから降りられず、ギュッと職員の服を握っていました。

交流が始まるとA子ちゃんのお部屋に里父母さんが遊びに来て、徐々にお散歩や親子訓練室で過ごす時間を増やしていきます。最初は、お部屋に迎えに行くと担当職員の腕に顔を埋めていたA子ちゃんも、自分だけを見てくれる里父母さんに少しずつ心を開いていき、里父母さんの顔を見るととても可愛い笑顔で両手を広げる姿が見られるようになり、微笑ましい気持ちになりました。里母さんの抱っこがようやくスムーズにできるようになったかと思うと、今度は降りる事ができず、親子訓練室で抱っこから降りて遊べるようになったのは実習10日目でした。実習中は一進一退の時期もありましたが、自宅への外出・外泊を経て、無事「ママとパパ」が待つお家にお引越ししていきました。実習最終日には、里母さんが「明日のお迎えは主人と2人で迎えに来て、3人で帰ります！」とおっしゃられたのが印象的でした。



実習を終えられた後も乳児院のイベントと一緒に来られる等、大きくなったA子ちゃんの姿を見せに来ていただき、職員一同成長を喜んでいきます。今後も家庭訪問等を通じて、一緒に成長を感じて行きたいと思います。



児童養護施設～週末里親さんとこどもたち～

コロナがようやくおさまってきました。遡れば、2年前のコロナ禍から面会、外出、外泊ができなくなり、オンラインで面会をすることが主流となりました。最初は、慣れない操作と、普段、電話で話することもほとんどないこどもたちなので、照れが勝って話すことがなかなかできず、会話も途切れ途切れでした。そして、直接会えないさびしさが一番にありました。そのような中、だんだんと慣れてきたこどもたちは、背景を工夫し、アプリを使って里親さんの頭に耳を作ってみる等、タブレットを使うスキルが上がり、オンラインの面会を楽しむこともできるようになっていきました。

昨年よりコロナが5類になり、週末里親さんとの活動を再開することができました。約2年ぶりに会うこどもたちに里親さんたちの第一声は、「わあ！大きくなったねー」でした。会えない2年間で、こどもたちも自粛をする窮屈な生活を送りながらも成長をしていて、身長が高くなり、体重も増えてひと回り大きくなっていました。照れるところからはじまる再会。会えなかった2年間を埋めることはできませんが、コロナのように、いつ、どのようなことが起こるかわからない世の中です。そのことも踏まえ、今、こどもたちに何ができるのかを、週末里親さんと共に考えていきたいと思っています。そして、いつも支えていただいていることに感謝をしています。

ありがたいことに、昨年より、週末里親さんになってくださる方が増えてきています。こどもたちの成長と一緒に見守ってくださる方がもっと増えることを願っています。



お知らせ

4月、5月に
駒川商店街にて
イベント開催予定です！



編集後記

令和5年度は様々な活動が再開され、みなさんと改めて顔の見える関係ができたこと、嬉しく思います。来年度もたくさんの催しを予定しております！引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

里親支援委員会 東ブロック

お問い合わせ先

一般社団法人大阪市児童福祉施設連盟
里親支援委員会(事務局:聖家族の家)
06-6699-7221 担当:萱津